

第 38 回合志市地域公共交通協議会 【会議録要旨】

〔日時〕平成 28 年 5 月 30 日（月）午前 10 時 00 分～

〔場所〕合志市役所 合志庁舎 2 階大会議室

〔出席者〕藤井勝公委員、緒方博詞委員、寺本秀信委員、森邦弘委員、
藤園直美委員、西郷節夫委員、塚本秀典委員、高山祐二郎委員、
山邊尚幸委員、坂本高繁委員、坂本昭文委員、野田徹志委員、
山野一平委員、富田廣志委員、片岡正和委員、富田一則委員、
重光重信委員、田上英昭委員、吉良忠暢委員、吉田幸広委員、
石原政孝委員、田中哲子委員、田尻亮司委員

〔代理出席〕合志市事業部建設課 林智英 主幹

〔欠席者〕小森田政憲委員、小原勝委員、島川浩一委員、溝上章志委員、
林省吾委員

〔事務局〕濱田政策監、坂本政策部長、大茂企画課長、牧野課長補佐、
吉田主査

〔議題〕

報告及び協議事項

- (1) 平成 27 年度合志市公共交通協議会歳入歳出決算について
- (2) 平成 27 年度コミュニティバス運行実績報告について
- (3) コミュニティバス運行事業評価について
- (4) 平成 28 年度事業計画（案）について
- (5) 合志市生活交通確保維持改善計画（案）について

〔会議の公開・非公開の別〕 公開

協議事項（1）平成 27 年度合志市公共交通協議会歳入歳出決算について
～事務局から資料を説明～

藤井勝公会長：何か意見、質問はないか。

藤井勝公会長：特にないようであれば、承認をいただきたいが如何か。

各委員：承認

報告事項（2）平成 27 年度コミュニティバス運行実績報告について
～事務局から資料を説明～

藤井勝公会長：何か意見、質問はないか。

高山祐二郎委員：今年から委員になります、お世話になります。レターバスと
は何か、循環バスとは何かというところから教えて欲しい。

事務局：レターバス、循環バス、乗り合いタクシーについて説明

塚本秀典委員：レターバスの3月の収支率が28%と高い。利用者数については、8月が一番高いが収支率は23.4%。

循環バスや乗り合いタクシーに関しても3月の収支率が高い。この要因についてどう考えているか。

事務局：学生の長期休暇期間であるからと考えられる。

塚本秀典委員：8月の夏休みについては、小学生の利用が多いと割引運賃での乗車が増え、収支率が少し落ち込むのは想像できるが、3月の春休みについては期間も短い。3月の収支率が高いということは割引運賃での乗車は多くないということではないか。

他に考えられる要因はないか。

事務局：その他の要因については、はっきりとしたものは把握していない。

塚本秀典委員：要因調査を行ってみてはどうか。

事務局：検討したいと思う。

藤井勝公会長：ないようであれば、次の議題へ移る。他に意見等はないか。

各委員：特になし

協議事項（3）コミュニティバス運行事業評価について

～事務局から資料を説明～

藤井勝公会長：何か意見、質問はないか。

塚本秀典委員：全体的に見て、レターバスについては問題ないと思う。循環バス、乗り合いタクシーの数値をどう上げていくかが課題だと思う。

一点だけ質問ですが、資料3の4ページで、レターバスの定時性に関して、バスロケによる案内強化とある。パソコン等のツールを持っていない人にどう案内するかになると思うが、事務局はどう考えているか。

事務局：まずはバスロケーションシステムをいかに使ってもらおうかと考えている。それが遅延の不安感を解消できると思う。

ツールを持たない方への対策に関しては、例えば、バス停や公共施設にタブレットを置くなど、誰でもバスロケーションシステムが見ることが出来る様な仕組みができればと思っている。

藤井勝公会長：他に質問はないか。

森邦弘委員：1つ要望だが、循環バスをよく利用している。市役所へ行き、会議が終わったらまた帰るような路線を設置していただけたらと思う。

事務局：ご要望、ご提案ということで今後の路線再編等実施していく際に検討事項としていく。

西郷節夫委員：循環バスとレターバスの結節部分について質問だが、レターバスの運転手、循環バスの運転手は、相互に遅延の把握は出来ているのか。運転手間の連絡は出来るのか。

坂本昭文委員：現在運転手間の連絡は出来ていない。今後運転手が他路線の遅延情報などを把握できるようなシステムを検討していく必要があるが、今のところ費用的に厳しい面がある。

事務局：この問題に関しては、すぐにどうこう出来るわけではない。課題ということで預からせてほしい。

藤井勝公会長：他に質問はないか。

山野一平委員：資料 3 の 3 ページ、乗り合いタクシーの合生・上生線について、目標値「達成」とあるが、26 年度の実績値が 982 名だったのに対し、27 年度の目標値が 750 名と現状値より目標値が低く設定してある。循環バスについても同じ設定が見られるが、これはどういうことか。

事務局：平成 25 年度に目標値の設定をした。資料の数値はその時のもの。当時の見込みよりも利用者数が伸びているとも取れるし、目標値が甘かったとも取れる。次回からは出来るだけ現状に即した目標値を設定していきたいと思う。

藤井勝公会長：他に意見等はないか。ないようであれば、承認を頂きたいが如何か。

各委員：承認

協議事項（４）平成 28 年度事業計画（案）について

～事務局から資料を説明～

藤井勝公会長：何か意見、質問はないか。

森邦弘委員：資料 4 の 4 ページ、6 番の中で、公共交通に関する講座とあるが、申請はどのようにすればよいか。

事務局：まずは事務局にご連絡をいただくと、要望に沿って日程調整等相談した上で開催をしていく。

藤井勝公会長：他に意見等はないか。ないようであれば、承認を頂きたいが如何か。

各委員：承認

協議事項（５）合志市生活交通確保維持改善計画（案）について

～事務局から資料を説明～

藤井勝公会長：何か意見、質問はないか。

西郷節夫委員：資料 5 の 1 ページの下部に、「地域ごとの生活圏に対応した生活支援交通及び市内移動手段の路線」とある。現在私は須屋に住んでいるが、市役所へのアクセスが非常に不便だと感じている。循環バスからレターバスに乗り換えて来なければならないので時間がかかる。庁舎統合の話と併せて、バス路線をもう一度見直す必要があると思う。

坂本政策部長：確かに目的地に行くための乗り換え等、交通網が上手く作られていないという現状がある。今のご意見も含めて全体的に検討していく。

藤井勝公会長：他に意見等はないか。ないようであれば、承認を頂きたいが如何か。

各委員：承認